

コミュニティ ふたつ

My home town story



2025.MAY
143号

5

[編集発行]
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団
[作成協力]
山田学区まちづくり協議会



草津市の西部に位置する山田学区は面積632ha。市全体の約13%を占め、その80%が市街化調整区域となっている。65歳以上の割合は学区別で2番目に高く、高齢化が進む。近畿最大2000棟のビニールハウス

群での野菜栽培が盛んで、特にメロンやアスパラガスは草津ブランドとして認証され、県内でも主力の生産地である。

東側を走る大津湖南幹線の道路沿いには様々な商業施設が並び、旧草津川跡地を活用した「ai彩ひろば」はドッグランやアウトドア設備が設置されるほか、魅力的なイベントが催されるなど集客力の高い施設となっている。

また2026年にオープン予定の新しい山田まちづくりセンターは、今後の地域づくりを進めていくまちづくり拠点として住民の期待を集めている。

※「第3次山田学区まちづくり計画」などより一部抜粋

●総人口	:	7,788人 (140,493人)
0-14歳	:	932人 (20,093人)
15-64歳	:	4,481人 (88,840人)
65歳以上	:	2,375人 (31,560人)
●世帯数	:	3,517戸 (64,900戸)
●65歳以上の割合	:	30.5% (22.5%)

※外国人を含めた集計/カッコは草津市全体
草津市HPより(令和7年3月31日時点)

山田まちづくり協議会の情報はこちら



山田まちづくり協議会
HP



山田まちづくり協議会
公式LINE



山田・不動浜のバス停前にある「Jinano 焙煎所」。扉を開けるともう香ばしい香りに包まれました。ちようど今、コーヒー豆の焙煎中。店長の似顔絵Tシャツのユニフォームもおしゃれ。Uターン・Iターンでまちを盛り上げている若者たちがなんとも頼もしくてカッコいい！風変わりな店名の秘密は3ページをご覧ください。

FEATURE

100軒のまちにロックがやってきた！ 不動浜町チャリティライブ

不動浜町 馬場裕彦さん（55歳）
ばんば ひろこ

山田学区、不動浜——。

応仁の乱のころ、琵琶湖から流れ着いた不動尊が漁師の網にかかったことからその名がついたとか。古民家が並ぶ昔ながらの町なみと広がる田園風景。秋には可憐なコスモスが町に彩りを添えます。現在、約100世帯270人ほどが暮らす静かなまちでは着実に高齢化が進んでいます。

この小さくて美しいまちが今、熱いんです。

今まで多くの人が集まります。スタッフもお客さんも揃いのTシャツを着てホントに楽しそう。ワクワク感満載のみなさんの笑顔がもう、素敵すぎます。

がしMAP」を手に町内をぐるぐると探検です。この日の売り上げはすべて能登半島地震の被災地復興に寄付されました。

せつかく自宅があるのに

いつもの会館が今日はライブハウスに。クラシック、ポップスからパンクロック、果ては雅楽まで、地元のミュージシャンや駆け付けたプロのバンド、障がい者バンド、そして地元の皆さんによるステージは大盛り上がりです。

この震災復興応援チャリティライブ「陽ハマタ昇ル」の主催メンバーの一人が馬場さんです。馬場さんは生まれも育ちも不動浜。生粋の不動浜っ子です。

会館前ではマルシェ。日除けのテントが並び、ビールやラムネ、からあげ、フランクフルトといった模擬店、アクセサリーや体験コーナーなど地元の人たちによるコーナーも大賑わい。地元のコーヒードリンクショップさんによるアイスコーヒーの試飲やお母さんたちによる特製手づくりカレーも人気です。たくさんさんの親子が「不動浜お宝さ

「子どもたちは盆踊りや子ども会など町あげての行事がたくさんありました。集団登校の集合場所が友だちとビー玉やって、学校が終われば公園で野球。中学生からは岡不動浜・南山田3町で順緑りの神輿担ぎもやりました。大体なんでも『どこの家だ』とか『どこぞの子どもだ』とか、みんな知っていましたよ。お葬式なんかも自宅で、近所の方が手伝いに



会館がライブハウス

一本の動画があります。2024年9月23日、不動浜会館で行われたライブの様子です。秋分の日といっても、まだまだ暑さ厳しい青空の下、会場には老若男女、子どもからおじいちゃん、おばあちゃん



次男坊さんの「Jinanbo〜焙煎所〜」
いつかココでカフェも開きたい!▼



きてくれる近所づきあいがついにありました」と馬場さん。

「家は農家だったけど手伝いなんか全然なくて逃げてばかり(笑)。思春期になると田舎ならではの退屈さや近所づきあいの煩わしさなんかあって、早く家を出たくてね」

やがて馬場さんは服飾関係の仕事に就き、東京へも行きました。20年前からは服飾デザイナーとして自身のブランドも立ち上げ、栗東に店を構えるようになったのだとか。

転機が訪れたのは昨年のお父さんの死。「私が栗東に店を構えた時の父の言葉を思い出したんです。『せっかく自宅があるのだからここで商売したらいいのに、もったいない』って」

不動産の自宅は築70年の昔ながらの家屋。

「今55歳ですが、この歳になると故郷の見え方が変わってきたんです。不動産って良いまちだな、って。古い家も素敵だし、リンゴの木箱ばあちゃんが使ってた大正時代のタンス・火鉢……と物置に無造作に置かれていたモノまでどこか味わいがあるんですね。時代を重ねたモノと今の洋服をディスプレイしたら新鮮な感覚でね。知人の言葉も後押しとなって、自宅に店を構えることにしました」

今は地元消防団のロゴやTシャツもデザインしたりして、清掃活動の際にはお揃いのTシャツで頑張っているのだとか。

同年代の力

仕事で音楽関係の人と付き合いがあったのが縁で、仕事の傍らパン

ド活動もしていた馬場さん。地元での仕事と音楽を軸に充実した生活を送っていた昨年の正月に能登半島地震が起きたのです。すぐに仲間とチャリティライブを企画、その最初の場所を故郷の不動産に決めました。

思い切った町内会長に話してみたら「町内だけじゃなく他所からも来てもらえればまちも元気になる」と会館での開催に快くOKをくれました。

とは言え、地元での初めての試みとなると大変。そんな馬場さんを支えてくれたのが、地元の幼馴染たちでした。

不動産では代々、世代別のグループをつくって町内行事の時に「竹の調達」「縄をなう」など、その年代に合った役割を担う風習があります。馬場さんたち50代中心の「浜の道クラブ」には今も13人が属しています。

クラブのグループLINEでライブの相談をすると、みんながアイデアを出しあったり、力を貸してくれて企画が実現することができました。昔ながらの風習が形を変えて活躍したのです。

若い世代がこの場所で

今、不動産のまちには馬場さんのショップだけでなく、パンやコーヒーなど、おしゃれな店があつて多くの人が訪れます。

不動産で育った若い世代が、不動産で店を開いているのです。例えばチャリティライブでコーヒーを提供したJinanboさん。

店主の馬場亮太さん(37歳)は大阪でコーヒーの修業をした後、初めての自分の店をココに出したのだとか。

「自分の店を出すのは故郷の不動産で決めていました。育ててもらった恩返しに気持ちもあります。自分が次男坊としてココで育ったんで、そのまま店の名前にしたんです(笑)」なるほど。

チャリティライブを終えた馬場さんの想いには続きがあります。

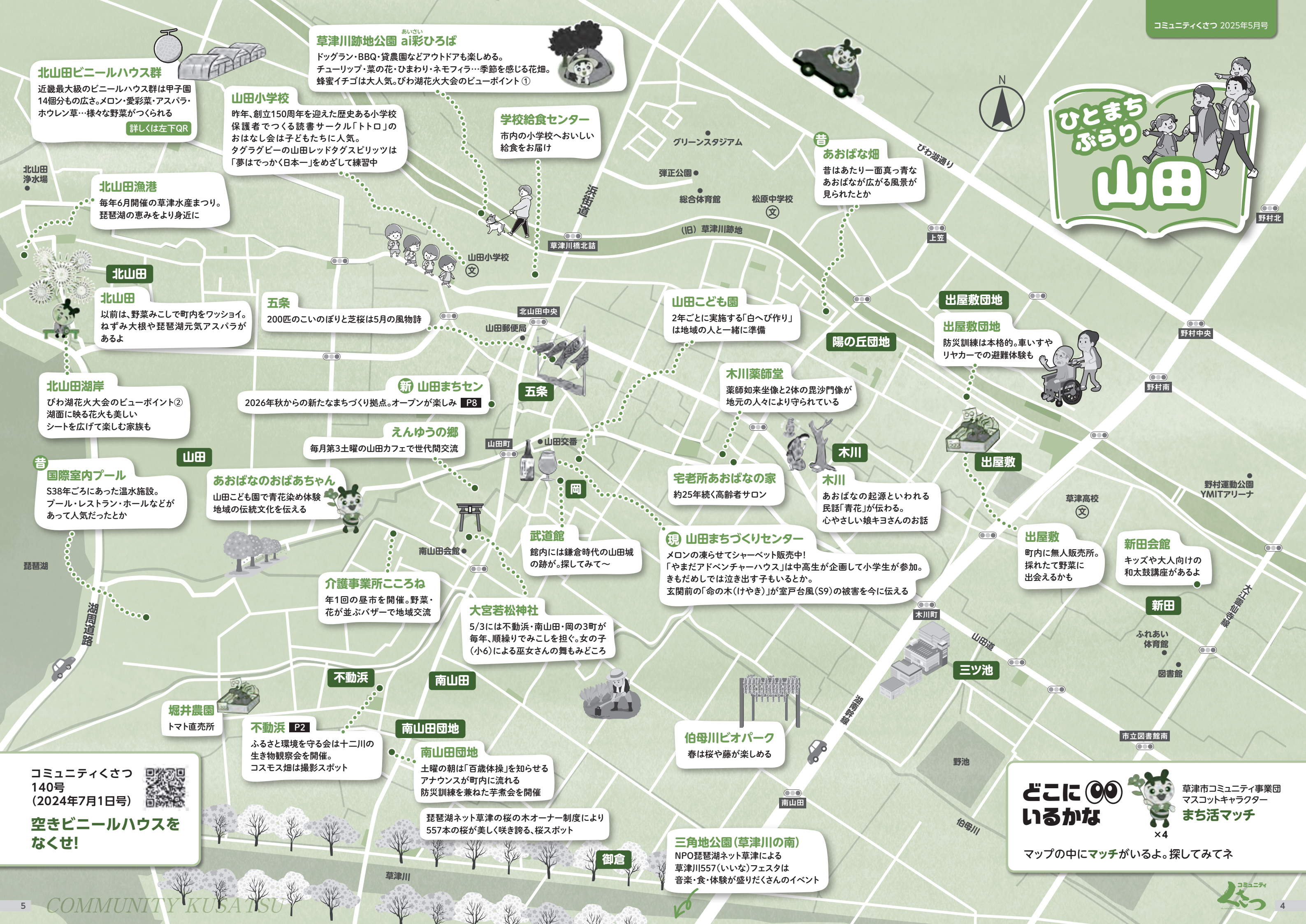
「ここ不動産でも山田学区でも空き家が増えつつあります。若い世代が空き家を利用して、やりたいことが実現できるよう応援したい。Uターンでも他から移り住んでくる人でも、若い人たちがチャレンジできるまちになったらいいですね。ここで子どもから高齢者まで、皆がもっともっと顔を合わせる楽しい機会をつくっていくことで住んでみたいと思える楽しいまちにしていきたい。これが私の故郷孝行です」
まちが人を育て、人がまちを育む。
不動産のこれからに目が離せません。



馬場裕彦さん

近くには
おしゃれな
パン屋さんも。▶





北山田ビニールハウス群

近畿最大級のビニールハウス群は甲子園14個分もの広さ。メロン・愛彩菜・アスパラ・ホウレン草…様々な野菜がつくられる

詳しくは左下QR

草津川跡地公園 あいざい ai彩ひろば

ドッグラン・BBQ・貸農園などアウトドアも楽しめる。チューリップ・菜の花・ひまわり・ネモフィラ…季節を感じる花畑。蜂蜜イチゴは大人気。びわ湖花火大会のビューポイント①

山田小学校

昨年、創立150周年を迎えた歴史ある小学校。保護者でつくる読書サークル「トトロ」のおはなし会は子どもたちに人気。タグラグビーの山田レッドタグスピリッツは「夢はでっかく日本一」をめざして練習中

学校給食センター

市内の小学校へおいしい給食をお届け

北山田漁港

毎年6月開催の草津水産まつり。琵琶湖の恵みをより身近に

北山田

北山田

以前は、野菜みこしで町内をワッショイ。ねずみ大根や琵琶湖元気アスパラがあるよ

北山田湖岸

びわ湖花火大会のビューポイント②。湖面に映る花火も美しいシートを広げて楽しむ家族も

昔

国際室内プール

S38年ごろにあった温水施設。プール・レストラン・ホールなどがあって人気だったとか

山田

あおばなのおばあちゃん

山田こども園で青花染め体験。地域の伝統文化を伝える

新 山田まちセン

2026年秋からの新たなまちづくり拠点。オープンが楽しみ P8

えんゆうの郷

毎月第3土曜の山田カフェで世代間交流

五条

武道館

館内には鎌倉時代の山田城の跡が。探してみて～

大宮若松神社

5/3には不動浜・南山田・岡の3町が毎年、順繰りでみこしを担ぐ。女の子(小6)による巫女さんの舞もみどころ

不動浜

不動浜 P2

ふるさと環境を守る会は十二川の生き物観察会を開催。コスモス畑は撮影スポット

南山田団地

南山田団地

土曜の朝は「百歳体操」を知らせるアナウンスが町内に流れる。防災訓練を兼ねた芋煮会を開催

琵琶湖ネット草津の桜の木オーナー制度により557本の桜が美しく咲き誇る、桜スポット

御倉

山田こども園

2年ごとに実施する「白へび作り」は地域の人と一緒に準備

木川薬師堂

薬師如来坐像と2体の毘沙門像が地元の人々により守られている

宅老所あおばなの家

約25年続く高齢者サロン

現 山田まちづくりセンター

メロンの凍らせてシャーベット販売中! 「やまだアドベンチャーハウス」は中高生が企画して小学生が参加。きもだめしでは泣き出す子もいるとか。玄関前の「命の木(けやき)」が室戸台風(S9)の被害を今に伝える

木川

木川

あおばなの起源といわれる民話「青花」が伝わる。心やさしい娘キヨさんのお話

出屋敷団地

出屋敷団地

防災訓練は本格的。車いすやリヤカーでの避難体験も

出屋敷

出屋敷

町内に無人販売所。採れたて野菜に出会えるかも

新田会館

キッズや大人向けの和太鼓講座があるよ

新田

ふれあい体育館

図書館

市立図書館南

どこに〇〇
いるかな



草津市コミュニティ事業団
マスコットキャラクター
まち活マッチ

×4

マップの中にマッチがいるよ。探してみてネ

コミュニティくさつ
140号
(2024年7月1日号)



空きビニールハウスを
なくせ!



いってらっしゃいとおかえりなさいの間に ～山田学区支え合い送迎～

山田学区社会福祉協議会・V.メロン

会長 中瀬清美さん(62歳)



7km先の病院

あなたは今日、どこかへ出かけましたか。そこにはどうやって行きましたか？
行きたいところ、行く必要のある所にフツーに行けることって、実はとっても幸せなこと。中には高齢や病気でそんな移動がままならない人もいます。山田には、そんな人たちを行きたいところまで送迎する人たちがいます。

「いってらっしゃい」と「おかえりなさい」の間にあるもの。それは？

桜が満開となった春の日、朝から学区内のとある住宅に二

台の車が停まりました。運転席には70

代の男性の温和な顔。時間を合わせていたのか、車が停まったのとほぼ同時に家から高齢の女性が杖をついて現れました。

この車、もちろんタクシーではありません。白い車体のボディーには社会福祉協議会のマスコット「ふくちゃん」が笑っています。そう、山田学区社会福祉協議会の地域支え合い送迎の風景です。

今日は女性の診察日。今から7kmほど離れた大学病院まで行くのだとか。女性に聞くと「いつも良くしてもらって感謝しかありません。本当に助かってますよ」。すかさず送迎の男性が「そりゃ本人を目の前にしたら悪口も言いにくいわなあ(笑)」と言って、2人で大笑いしながら出発していきました。どうやら、

だいぶ気心も知れている感じがです。

気をつけて行つてらっしゃい。

止まってしまった車

「通院や買い物などの移動に困っている高齢者を地域で支え合おう」と、この地域支え合い送迎が始まったのは14年前のこと。事業の実施主体である草津市社会福祉協議会から車両を提供してもらい、学区の社会福祉協議会が運行管理責任者となって運営しています。

「事業が始まった当初は別のボランティアグループが運転をしてくれていたんです。でも、そのグループがメンバーの高齢化で解散してしまつて、しばらく事業がストップしてしまいました」と学区社協の会長、中瀬さん。

出番を失い、山田まちセンの駐車場に止まったまんなの送迎車を横目で見る日々。そんな時、地元の高齢者の皆さんから「事業を復活して欲しい。もう一度、

車を動かしてほしい」との声があつたのだとか。

山田学区は現在、市内でも2番目に高齢者の割合が高い地域。今後、ますますこの車の出番が必要となります。

そこで再度、送迎ボランティアを募り生まれたのが、ボランティアグループ「V.メロン」です。現在、送迎ボランティアは10人。車の運転が伴うので男性が多いのかと思いきや、なんと女性が9人なんだとか。

中瀬さんもメンバーの一人です。

デリケートだからこそ工夫

通院や買い物、公共施設など生活に密着した場面でのボランティア、しかも車での安全面の配慮や精神的なケアも必要となるデリケートな活動です。そのため、利用者もボランティアも双方が快適でいられるよう、運営方法には色々な工夫がされています。

まずは送迎ボランティアの登



▲イメージ

録には運転歴10年以上かつ5年以上無事故でなければなりません。

また、高齢者が安心して利用できるよう、利用者一人ひとりに担当するボランティアを決めています。いつも同じ人なので送迎中の車内もリラックスできますね。

利用する側にもルールがあります。まずは事前の登録が必要です。登録できるのは本当にこの制度が必要な人で、現在23人。民生委員さんと相談し、家族と離れて暮らす高齢者や独居者に声をかけて集まったのだとか。

送迎の利用は一人につき月2回まで。燃料費として1km10円の負担をしてもらいます。7km先の病院なら、往復14kmで140円というわけですね。

中瀬清美さん

んっ、往復？そういえば時間のかかる病院での診察なんかだと、ずっと待ってるの？

「そのような場合は送り届けたら一旦戻ります。その時に担当ボランティアのケータイ番号を記したカードを渡しておいて、診察が終わったら連絡してもらうようにしています。担当者が決まっているので、別れ際に次の利用申し込みも済ませてもらいます」

ここにも工夫あり、ですね。

送迎は見守り

車に他人を乗せているという緊張感もあるけど、やっぱり高齢者なので急がずゆっくり安全

に運転することを心掛けているという中瀬さん。車中の様子を聞きました。

「皆さん、『助かるわあ』『朝の忙しい時間によく来てくれて』と感謝してくれます。車の中ではご自身の病気や体調の話をしてくれることが多いですね。90代の人なんかは『もう長くないわあ』なんて言いながら毎月利用してくれますよ(笑)」

ドキつとしたこともありまして。

いつもなら玄関で待ってくれる利用者が時間になってもそこにいない。連絡もつながらない。家の中で何かあったのでは？とオロオロし

てる時に他市に暮らす娘さんから、『数日前から入院していることを伝えられてなかった』との連絡が入り、胸をなでおろしたのだとか。

「その時、この送迎は見守りにもなっ

ていたんだなと気がついたんです。送迎ボランティアのミーティングでは、利用者の状況や健康状態などの確認が欠かせません」



▲イメージ



冒頭に登場した女性は79歳。これまで夫に病院まで送迎してもらっていたのだとか。でも2年前に夫は亡くなり、一人暮らしとなりました。7kmある病院までどうして行けばよいのかほとんど困り、市の機関に相談したことで支え合い送迎につながりました。「この送迎がなければ病院までどうやって行けばよいのか、もう見当すらつきません。地元はこの制度があって本当に助かっています」。この女性にとっても、なくてはならない支え合い送迎です。

これからも独居高齢者の増加が予想される中、「これからは、送迎ボランティアをしてくれる人も増やしたい。誰もが歳をとります。私たちも行く先のことだから、地域で支え合って暮らしたい。山田には、程よいつながりがあって地元を想う人が多いんですよ。社協の活動を始めて12年経ちますが、山田の人とのふれあいが楽しくて仕方ありません」と話す中瀬さんの山田愛は増すばかり。

今日も安全運転であなたを送ります。

さて、そろそろ出発しましょうか。

※草津市社会福祉協議会の地域支え合い運送支援事業は現在、山田学区以外にも志津南、老上・老上西、南笠東の学区でも行われています。運営方法などはそれぞれの学区で異なります。



もじうめスツキリ

山田にまつわるスツキリ。□に入る5文字を答えてね。

問

(1) 山田小学校が倒壊。室戸台風の被害を今に伝える

いの□のき

(2) ドッグラン・デイキャンプなど山田の
新しいにぎわいスポット

あいさ□ひろば

(3) 伯母川ビオパークで桜が咲くと次はこの花

□じ

(4) 山田の名物。クラフトビールやシャーベットもあるよ

メロ□

(5) 山田のまちづくり拠点。新しいセンターのオープンが待ち遠しい

やまだまちづく□センター



P4-5の
マップに
ヒントがあるよ

応募方法

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募お待ちしております。

※切 5月16日(金) 必着

宛先

〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)
(公財)草津市コミュニティ事業団「コミュニティくさつ5月号」係

☐ com-com@mx.biwa.ne.jp

☎ 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選で山田のメロン「凍らせてシャーベット ギフトパック」の引換券(1,000円相当)を5名様にプレゼント。

※山田まちづくりセンターにてシャーベットと引き換えいたします。



今から待ちどおしい! 新 山田まちづくりセンター 2026年秋ごろ、新築移転!

(予定)

山田学区の新たなまちづくり拠点となる山田まちづくりセンターが、いよいよ来年の秋頃に新築移転する予定です! これまで地域の皆さんの声を聞きながら、市と協議を重ね、山田の現在そして未来を見据えたセンターがいよいよ誕生します。

1階には交流サロン、チャイルドコーナー、スタディコーナーなどがあり、こどもから高齢者まで誰もが気軽に集い、多世代の交流が図れる地域の拠点となることが期待されます。

また、食品営業許可を取得予定の調理室もあり、食に関するイベント等を通じて地域の活性化も図ります。

山田の新たな賑わいスポットとしても期待が高まりますね。

📍草津市北山田町70-7



ポイズ 山田のここが好き!

